

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 153号
1月15日(火)

一年生大会に向けて

いよいよ今週の土曜日は一年生大会です。文字通り、一年生しか出場することができない大会ですが、“一年生大会の意味”を少し考えてほしいと思います。



(一年生へ)

文字通り、一年生しかコートに立つことを許されない大会です。あなたたちのために2年生は練習の手伝いをしてくれたり、係の先生が準備をしてくれたりします。あなたたちができることは、

○思い切りプレーすること

○必死にボールを拾い・つなぎ・打ち返すこと

○とにかくバレーボールを楽しむこと

です。たくさんの人の想いを感じながらプレーしよう。その気持ちを忘れなければ、必ず結果もついてくるはずですよ。

(二年生へ)

2年生にとっては、サポートにまわる大会になります。当日の会場設営・審判はもちろん、当日までの練習での2年生のサポートが1年生にとってはとても大切になってきます。ぜひ先輩として様々な面で1年生をサポートしてあげてほしいと思います。そして何よりも1年生が緊張した中で瀬戸市体育館のコートに立ったとき、このチームよりも大きな声を出して盛り上げて、東中らしい雰囲気を出してあげましょう。コートに立ってるのは1年生だけですが、戦うのは東中女子バレー部員全員です。



【これからの練習試合】

3連休のうち、2日間にわたって練習試合を行いました。合計8チームと戦いました。1日目の最後にも言いましたが、これから夏に向けて少しずつ練習試合の意味合いが変わってきます。先生は日頃から「練習試合の相手は、自分たちが勉強になる相手とやる！」という話をしてきました。ここで言う“勉強になる”とは、バレーボールに対する取り組む姿勢が一番ですが、やはりこれからは“強さ”も一つの大きな要素になってきます。練習試合の中でレベルの高い所で競った試合を何セットも経験していくことは、必ず大会でも生かされてくるからです。2日間を振り返ってみて、圧勝したセットは別として、強い相手に対してどれだけくらいついていけたのでしょうか。勝ったり、終盤まで競ったりしたセットがどれくらいあったのでしょうか。そういった部分から、もう夏に向けて闘いは始まっています。次は2月の第1週・第2週になります。常に頭の中に入れてプレーしてきましょう。

